

# Process Writing を通したライティング活動

藤本 貴之

## 1. はじめに

文部科学省(2018a)が高校3年生を対象に行った英語力調査では、書くことにおいて、90%以上の生徒が初級レベルであるA1または、A2に該当することが分かっています(A1: 80.4%, A2: 19.3%)。つまり、調査からすると、高校3年生の90%以上が英検3級または、準2級程度であることが言えます。このようなことから、普段の授業の中で、効果的なライティング活動を導入していく必要があります。

これまでのライティング指導では、主に教師の役割は、生徒が書いてきた作品の語彙・文法チェックが多くを占めてきたと思います。しかしながら、語彙や文法の指導が中心となる活動では、論理的に文章を表現する力はなかなかつきません。高等学校学習指導要領(文部科学省 2018b)では、書くことについて以下のように書かれています。

日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりした内容について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、発想から推敲まで段階的な手順を踏みながら、意見や主張などを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

つまり、生徒にトピックを提示して書いてくるように伝えるだけでなく、段階的な手順を踏みながら書かせる必要があります。

本稿では、生徒に段階的な手順を踏みながら効果的なライティング指導ができる Process Writing をどのように導入したらよいかについて、具体的な指導方法とともに紹介していきます。

## 2. Process Writing とは

Process Writing とは、様々な過程を経て、一つの作文を書きあげる指導方法です。Peregoy & Boyle (2016)は、5つの過程を示しています。

- ① Prewriting : アイデアを集める
- ② Drafting : アイデアを文章化する
- ③ Revising : 文章の順序を整える
- ④ Editing : 語彙, 文法などの修正をする
- ⑤ Publishing : 文章を共有する

Process Writing では、それぞれの過程を順番に行うだけでなく、行ったり来たりすることでより質の高い作品作りを可能にしています。また、文章を完成させる過程で、生徒や教員のアドバイスを取り入れることが可能なので、質の高い文章が書けると考えられます。

## 3. 活動例

活動例では、英語学習の初期段階において環境問題について「エコバッグを利用する人は増えると思うか」について書かせる授業を想定しています。

### ① Prewriting

Prewriting では、生徒が文章を書けるように準備をします。語彙や表現を生徒に渡すだけでなく、実際に使用することで、トピックについてどのような考えがあるのか、どのような語彙、表現を用いることができるのか学ぶことができます。

- 1) Do you turn off the lights when you leave a room?
- 2) Do you buy recycled paper products?
- 3) Do you use public transportation?
- 4) Do you take your own shopping bags when you go shopping?
- 5) Do you separate and sort garbage?

### 6) Do you take your trash home?

上記の質問文が書かれたワークシートを使い、生徒同士でどれだけ環境問題を意識しているかアンケート調査をとり、この活動を通して環境問題について広く考えを膨らませていきます。

次に今回のトピックを伝え、以下のような文を見せ、意見をサポートする文を例示します。ここでは、それぞれの文が賛成の意見をサポートしているのか、反対の意見をサポートしているのか考えさせます。

- 1) Using plastic bags causes pollution.
- 2) Buying plastic bags doesn't cost as much as buying their own bags.
- 3) Buying plastic bags is just waste of money.
- 4) People don't need to pay for plastic bags.
- 5) People can reuse plastic bags for many purposes.
- 6) People can reduce waste.
- 7) People don't always bring their own bags.

ここまでの活動で環境問題についての取り組みからエコバッグを持つことについてある程度考えを持つことができます。

次に、モデル文を見せ、具体例や説明がどのように使われているのか理解します。

#### モデル文

I don't think more and more people take their own bags when they go shopping. First, buying plastic bags doesn't cost as much as buying their own bags. For example, although it costs about 3 yen to get a plastic bag, we have to pay 1,000 yen to buy an eco-bag. We can buy 300 plastic bags with that amount of money. Next, people can reuse plastic bags for many purposes. For example, a plastic bag can be used as a garbage bag. Especially in cars, we eat snacks, and we want to throw the packaging away. Because of these reasons, I don't think more people need to carry their own shopping bags.

また、生徒はモデル文を利用して、何が理由でありその具体例なのか理解し、Opinion, Reason, Example, Opinion (OREO)の構造を学びます。

そのための方法としては、理由と具体例に線を引かせたり、書き出させたりする方法が考えられますが、グラフィックオーガナイザーを用いて構造を図式化することも考えられます。モデル文を図式化し、リテリングさせる活動を行うことで、モデル文を理解するだけでなく、構造を深く理解することもできます。

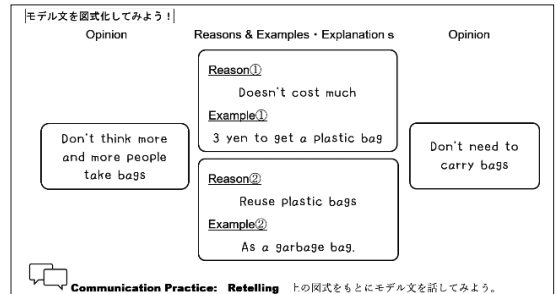


図1 グラフィックオーガナイザーを用いた図式化の例

ここまでの活動をもとに自分の考えをモデル文の時と同様のグラフィックオーガナイザーを用いてまとめていきます。そのグラフィックオーガナイザーを用いて、ペアで話し合いをさせ、自分の考えを深めていきます。

### ② Drafting

次に、今までの活動をもとに今の考えを文章化します。その際、Prewriting、で学んだOREOの構成に沿って書くことを促します。ここまでの活動が終わったら、原稿用紙を配布して、宿題として最初の原稿を書いていきます。

### ③ Revising

Revisingでは、生徒同士で読み合ったり、教師に読んでもらったりして内容面についてコメントをもらいます。生徒同士で読み合う場合には、気になる箇所に下線を引かせ、良い点や改善点としてコメントを書かせます。教師が修正を加える際にも、文法事項については、1つか2つに項目を絞り、指摘していくことが大切です。ライティングの研究において、添削よりも、ライティングの内容についてのフィードバックや書く回数を増やすことのほうが、量的にも質的にも向上するという報告があります (Semke, 1984; Rob, Ross, & Shortreed, 1986 as cited in Lee & VanPatten, 2003)。また、生徒の文章で得られた共通した間違いをよくある間違いとしてプリントにまとめ、それを授業でグループ活動

として生徒に修正させることも考えられます。生徒が自ら文法の間違いに気づくことは、教師が間違いを指摘することよりも文法学習として有効であると言えます。このような流れを授業時間が許す限り行い、2回程度生徒や教師からの助言を受け、Final Draftに入ります。

#### ④ Publishing

最後に、書き上げたものをクラスで発表をすることや、会話形式でスピーキングテストを行うことが考えられます。その際、生徒は書いたものを見ないように促すことが大切です。発表ではパワーポイントにキーワードだけを表示させたり、スピーキングテストでは、相手の質問をヒントに話したりすることができるように伝えます。インターネットや翻訳アプリに頼って難しい語句や自分が理解していないような表現を使うことがないように促すことも大切です。

#### 4. 評価について

評価については、ルーブリックを使用します。初期段階においては、書ける量も増やすことを考慮に入れ、語数を評価に入れることも考えられます。また、最初の原稿と最後の原稿でどのように改善をしたのか生徒に書かせることで、学びに向かう力を見ることができ、また複数回書きなおしをしている中で、まったく同じことを繰り返し書いてくるのを避けることもできます。内容については、以下のような条件で評価します。

- 条件1：エコバッグを持つ人が増えるかどうか自分の意見が明確に書かれている。
- 条件2：意見について2つの理由が具体例とともに説明されている。
- 条件3：順序を表す表現を用いながら説明されている。

評価の条件を作成する際には、授業で扱う題材に応じて論理の構成や展開を考えさせる必要があります。国立教育政策研究所(2021)によると、以下の表で示すように、状況などに応じた論理の構成や展開：適切な文体(叙述文、説明文、論証文など)を用いて、読み手に伝えたい内容を効果的に書くことができるかどうかを評価するようにとあります。

書く内容(例)	論理構成や展開(例)
叙述文	
経験や人物伝、歴史上の出来事、人や場所、物の描写など。(例：日記、物語、紹介文、人物の伝記など。)	・〔経験や出来事〕 時間の軸に沿って書く。 ・〔描写〕 特徴を重要な順や空間的配置等に従って書く。
説明文	
主題に関する客観的事実や情報など。(例：絵や写真などの説明、新聞や雑誌の記事など。)	・要点を項目立てで整理し、説明すべき物事の定義や具体例などを添える。
論証文	
意見や主張を掲げた、相手を説得するための議論など。(例：新聞等の意見欄などへの投稿、レポートや論文など。)	・序論→本論→結論の構成で書く。 ・理由付けや具体例などの証拠を用いて、説得力のある意見や主張を書く。

#### 5. おわりに

これまでの流れが Process Writing の流れになります。主体的で対話的で深い学びのある授業改善を行う際に、自分の考えだけでなく他の人の考えを反映させながら、論理的に文章を書くことを可能にする Process Writing は大変有効であると考えられます。授業時間の制限がありますが、家でもできることは家でやってくるように回し、できるだけ、学校でしかできないことを授業で行うとよいでしょう。

#### 参考文献

- 文部科学省(2018a)。「平成 29 年度 英語力調査結果 (高校 3 年生)の概要」 Retrieved from [https://w.mext.go.jp/a\\_menu/kokusai/gaikokugo/\\_icsFiles/afieldfile/2018/04/06/1403470\\_03\\_1.pdf](https://w.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/_icsFiles/afieldfile/2018/04/06/1403470_03_1.pdf)(2022年7月12日)。
- 文部科学省(2018b)。「高等学校学習指導要領」
- 国立教育政策研究所(2021)。「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」。
- Lee, J. F., & VanPatten, B. (2003). *Making communicative language teaching happen*. New York: McGraw-Hill.
- Peregoy, S. F., & Boyle, O. F. (2016). *Reading, writing and learning in ESL (7th ed.)*. Pearson.